

令和5年度 奈良市子ども会議 報告書



奈良市
子ども政策課

目次

I 奈良市子ども会議の概要	1
1 奈良市子ども会議について	1
2 令和5年度奈良市子ども会議開催状況	1
3 ファシリテーター	1
4 子ども参加者	2
5 サポーター	3
II 奈良市子ども会議の開催	4
1 奈良市子ども会議の内容	4
2 振り返りシート集計結果	7
3 アンケート集計結果	10
III 奈良市子ども会議意見書	13
IV 意見書に対する答え	19

別冊資料

- 令和5年度奈良市子ども会議 意見書(原本の写し)



I 奈良市子ども会議の概要

1 奈良市子ども会議について

奈良市では、子どもたちが、今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるような、子どもにやさしいまちづくりを目指して「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、平成27年4月から施行しました。

奈良市子ども会議は、この条例の規定に基づき、子どもの意見表明や参加を支援するための取組で、この会議に参加する子どもたちが子どもにやさしいまちづくり等について話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的としています。

令和5年度の奈良市子ども会議は、7～8月に5回実施し、奈良市が抱えている課題や実施している事業のうち、5つのテーマについてグループに分かれて話し合いました。

そして、子ども会議を通して話し合った内容を市長へ伝える意見報告会を実施しました。

【テーマ】

- ① みんなが自分らしく生きられる社会(学校や地域など)について考えよう！（共生社会推進課）
- ② お年寄りと子どもの交流について考えよう！（福祉政策課）
- ③ 子どもの権利について考えよう！（子ども政策課）
- ④ SNSやゲームとの関わり方について考えよう！（子ども支援課）
- ⑤ 新しいクリーンセンターをどんな場所にしたいか考えよう！（クリーンセンター建設推進課）

2 令和5年度奈良市子ども会議開催状況

（1）開催日・テーマ・参加人数

回	開催日	各回のテーマ	参加人数
第1回	令和5年7月26日（水）	「仲間と出会い、各グループが担当する課題を知る」	22人
第2回	令和5年7月28日（金）	「各グループの課題の構造を理解する」	22人
第3回	令和5年8月2日（水）	「課題を解決する道筋を知る」	18人
第4回	令和5年8月4日（金）	「課題を解決する道筋をつける」	19人
第5回	令和5年8月9日（水）	「意見書を作成する」	20人
—	令和5年8月18日（金）	「市長への意見報告会」	17人

（2）開催時間・場所

- ▶ 開催時間 午前10時から正午まで
- ▶ 開催場所 奈良市役所 中央棟地下1階 B1会議室

3 ファシリテーター

地域ファシリテーター／令和4年度奈良市子ども会議ファシリテーター 萩原 有紀 氏

4 子ども参加者

10歳から17歳までの子どもを対象に、公募等により募集し、25名の子どもが参加しました。

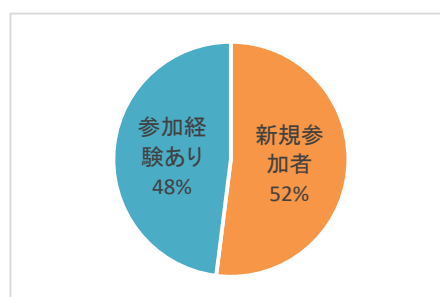
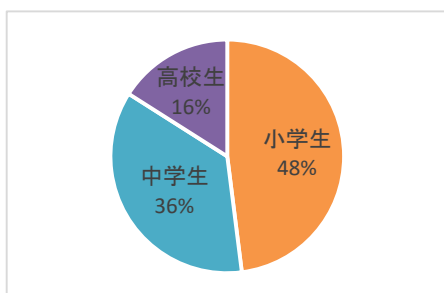
(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年		氏名	学校／学年
1	にしむら たいち 西村 泰一	佐保川小学校 6年	14	ほうじょう あらし 寶上 新史	三笠中学校 1年
2	かわむら みなこ 川村 美菜子	青和小学校 5年	15	かきうち まさと 垣内 証人	帯解小学校 6年
3	おおた ゆうき 大田 結貴	富雄北小学校 5年	16	いとう にじか 伊藤 虹架	高円芸術高等学校 3年
4	たにだ にこ 谷田 仁胡	奈良女子大学附属中等教育学校 1年	17	つねいし ちか 恒石 智香	佐保小学校 5年
5	たにだ としあき 谷田 俊明	一条高等学校 1年	18	ますだ しゅうえい 増田 修英	一条高等学校附属中学校 2年
6	うちだ りゅうのすけ 内田 龍之介	ならやま小学校 6年	19	さかぐち まり 阪口 真理	大宮小学校 5年
7	さかもと あやか 坂本 彩夏	富雄南中学校 1年	20	とくもと あおい 徳本 葵	椿井小学校 5年
8	にのみや あおい 二宮 葵	大安寺西小学校 6年	21	あおやま こうへい 青山 幸平	飛鳥小学校 6年
9	おおむかい あき 大向 彩希	三笠中学校 1年	22	にしまつ ちはる 西松 知春	奈良教育大学附属中学校 2年
10	あかさか やまと 赤阪 弥真斗	済美小学校 6年	23	くわばら ことほ 栗原 壽	二名小学校 5年
11	あかさか むさし 赤阪 武紗志	二階堂高等学校 1年	24	みずの たいよう 水野 太陽	奈良女子大学附属中等教育学校 1年
12	やとしゅうすけ 矢戸 秀介	三笠中学校 1年	25	なかむら はるな 中村 陽奈	同志社国際高等学校 2年
13	ひがしぐち えいた 東口 瑛汰	奈良教育大学附属中学校 1年			

内訳（単位：名）

小学生	12
中学生	9
高校生	4

新規参加者	13
参加経験あり	12



5 サポーター

奈良市内に在住または在学している大学生等を対象に募集し、9名の大学生が参加しました。

(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年
1	にしやま だいち 西山 大一	奈良県立大学 4年
2	つしま しゅんすけ 津嶋 俊介	奈良教育大学 4年
3	とだ ゆき 戸田 優希	奈良女子大学 3年
4	ひろせ はるき 広瀬 陽希	奈良県立大学 3年
5	むかいやま はると 向山 温登	関西大学 2年
6	もりた ゆりか 森田 優梨花	同志社女子大学 1年
7	はざ たかき 羽座 堯来	近畿大学 4年
8	もり ゆづき 森 祐月	立命館大学 3年
9	おおがき りょうた 大垣 亮太	龍谷大学 2年



Ⅱ 奈良市子ども会議の開催

1 奈良市子ども会議の内容

(1) 第1回「仲間と出会い、各グループが担当する課題を知る」(7月26日開催)

- 10:00 開会
- ・開会あいさつ(市長)
 - ・記念撮影
 - ・事務局紹介
 - ・ファシリテーター紹介
- 10:15 子ども会議の趣旨及び会議テーマについて説明(事務局)
- 10:30 アイスブレイキング
- ・自己紹介
 - ・チーム対抗ゲーム
- 10:45 グループに分かれてテーマの説明・質疑応答(テーマ担当課)
- 11:05 休憩
- 11:15 課題解決講座
- ・課題を考えるワークシートの作成
 - ・優先順位を考えるワークシートの作成
- 11:45 グループで話し合ったことを共有
- 12:00 閉会

(2) 第2回「各グループの課題の構造を理解する」(7月28日開催)

- 10:00 開会
- ・前回の振り返り
- 10:10 テーマ担当課への質問を考える
- ・訪問記録シートの「聞きたいこと・見たいもの」欄を記入
- 10:20 テーマ担当課へ訪問しインタビュー
- ・訪問記録シートをもとに質問
- 10:50 休憩
- 11:00 訪問記録シートの「聞いたものや見たもの、感想」欄を記入
- 11:15 課題解決フレームワーク
- 12:00 閉会



(3) 第3回「課題を解決する道筋を知る」(8月2日開催)

- 10:00 開会
 - ・前回の振り返り
- 10:10 グループワーク
 - ・課題解決フレームを作成する
- 10:30 中間発表
- 10:50 休憩
- 11:00 グループワーク
 - ・課題解決フレームを完成させる
- 12:00 閉会

(4) 第4回「課題を解決する道筋をつける」(8月4日開催)

- 10:00 開会
 - ・前回の振り返り
- 10:10 物語ワークショップの説明
- 10:20 グループワーク
 - ・意見書の作成
- 10:50 休憩
- 11:05 グループワーク
 - ・意見書の作成
- 12:00 閉会

(5) 第5回「意見書を作成する」(8月9日開催)

- 10:00 開会
 - ・前回の振り返り
- 10:10 グループワーク
 - ・意見書の作成
- 10:50 休憩
- 11:05 グループワーク
 - ・意見書の作成
 - ・報告会の役割分担決め
- 11:20 リハーサル
 - ・報告会の予行演習
- 12:00 閉会



(6) 令和5年度奈良市子ども会議からの意見報告会（8月18日開催）

- 10:00 事前打ち合わせ
・意見報告会の進行について確認する。意見報告の練習を行う。
- 10:30 開会
・出席者紹介
- 10:40 市長へ意見書提出
・記念撮影
- 10:50 各グループごとに意見発表・市長との意見交換
【A】 Gender Equality
みんなが自分らしく生きられる社会（学校や地域など）について考えよう！
【B】 一致団結！老若男女が笑顔！
お年寄りと子どもの交流について考えよう！
【C】 子どもの権利物語
子どもの権利について考えよう！
【D】 ゲーム依存症から犯罪へ～
SNSやゲームとの関わり方について考えよう！
【E】 新しいクリーンセンターを設置するために
新しいクリーンセンターをどんな場所にしたいか考えよう！
- 11:50 市長からのコメント
ファシリテーターからのコメント
- 12:00 閉会



2 振り返りシート集計結果

奈良市子ども会議の各回で子どもたちにその日を振り返るアンケート(振り返りシート)を記入してもらい、子ども会議についての意見を聞きました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数	第1回	22名
	第2回	22名
	第3回	18名
	第4回	19名
	第5回	20名

(問1) 楽しかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とてもそう思う	12	55%	20	91%	14	78%	15	79%	17	85%
そう思う	10	45%	2	9%	4	22%	4	21%	3	15%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	22	100%	22	100%	18	100%	19	100%	20	100%

(問2) わかりやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とてもそう思う	16	73%	15	68%	11	61%	15	79%	13	65%
そう思う	6	27%	6	27%	7	39%	4	21%	7	35%
そうでもない	0	0%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	22	100%	22	100%	18	100%	19	100%	20	100%

(問3) 話しやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とてもそう思う	6	27%	16	73%	12	67%	15	79%	17	85%
そう思う	16	73%	6	27%	5	28%	4	21%	3	15%
そうでもない	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	22	100%	22	100%	18	100%	19	100%	20	100%

(問4) 今日の子ども会議に参加して、感じたこと、気づいたこと、考えたことなど…なんでも書いてください！

① 第1回 (※一部抜粋)

- ・話しやすい雰囲気よかった。難しい議題だったけれど、考えたこともなかったことを考えられてよかった。
- ・実際に市を動かす人たちの考えをきくことができてよかった。
- ・小学生や中学生など様々な年代の人と交流できて、とてもおもしろかったです。
今後、皆と課題解決できたらいいと思います。
- ・市長に会って楽しかった。はなしやすくて楽しかった。
- ・子ども会議に初めて参加したけれど、ふだん考えないことも考えられてよかった。
- ・自分では思いつかないような考えをきく事が出来ておもしろかった。
- ・SNSのトラブルはかいけつするのがむずかしいのでいっぱい考えました。
- ・クリーンセンターという身近な課題だったので、考えることができた。

② 第2回 (※一部抜粋)

- ・担当課に質問できたのがよかった。奈良市によって改善がけっこうされているとわかった。
- ・人の意見をたくさん聞けてよかった。
- ・みんな担当課にユニークな質問をしていてとても良い学びになりました。
- ・大学生とはなして楽しかった。いろいろしつもんしてためになった。
- ・自分の意見をたくさん言えた。次からも参加したいと思うし、友達も呼びたいと思う。
- ・同級生の友達の話を聞くことができたりして、おもしろかった。
- ・みんなで協力して1つの課題をかいけつするのはむずかしかったけど楽しかったです。
- ・実際に話がきけてよかった。けっこう深刻で、時間や予算に制限があるけど、夢のあるはなしだった。
良いものができたらと思う。
- ・インタビューできるのが楽しかった。こんどはもう少し作業スピードを上げたい。

③ 第3回(※一部抜粋)

- ・今日もみんな元気に活発な意見がでていてとてもたのしかったです。
時々路線が外れたものの、最終的にまとまってよかったです。
- ・グループで欠席者が多く、意見を多く出すことは難しかったけど、自分の意見を伝えることができた。
- ・現状、解決策、理想を考えて、たくさんかくことができた。
- ・グループ名をきめるのは、大変でした。
- ・他の班はどのぐらいすすんでいるか知れたし、テーマのつけ方がなんとなくわかった。
ふせんで意見をだしたら、自分やみんなのいけんがよくわかった。
- ・グループ名が最高でした。小さい内から前で発表することは
その子の経験として積みあげられるので良いなと思いました。

④第4回(※一部抜粋)

- ・もぞうしをしっかりと書いていたので、小説もイメージしやすかった。
別のもぞうしも作ってくれていたので小説もかきやすかった。
- ・話し合っ表紙を作る作業をできて楽しかった。
- ・1回目よりもみんなと気軽に話せた。最後もがんばりたい。
- ・意見しょをかくと、自分自身の理解がふかまった。
また、前よりもはなしやすくて、良い意見がいっぱいだったので、良かった。
- ・自分とちがう人と意見をかわすのは新しい発見につながるため、良いと思った。

⑤第5回(※一部抜粋)

- ・はじめより話しやすかった。
- ・リハーサルがむずかしかったが、本番もがんばろうと思った。
- ・意見報告会は行けないけれど、その準備をみんなで協力できてすごくやりがいがあった。
- ・人数が少なく意見は言いやすかったが進ませるのがむずかしかった。
- ・次もがんばりたい。さいごやからもっとがんばりたい。
- ・表紙がじょうずにできていたのうれしかった。
- ・発表の練習も楽しかったです。



3 アンケート集計結果

全5回の子ども会議終了後には奈良市子ども会議全体を振り返ってのアンケートを子どもたちに記入してもらいました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数 20名

(問1) 奈良市子ども会議のことを何で知りましたか。(3名から複数回答あり)

選択肢	人数	%
学校での案内	9	32%
友達や保護者からの紹介	8	29%
しみんだより	2	7%
奈良市のホームページ	4	14%
奈良市公式SNS	0	0%
チラシ	2	7%
口コミ	0	0%
その他	3	11%
計	28	100%

(その他)

・前もやっていたから 等

(問2) 奈良市子ども会議全体を通して、満足でしたか。

選択肢	人数	%
満足	17	85%
やや満足	2	10%
普通	1	5%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	20	100%

(その理由) ※一部抜粋

【満足】

- ・色々な子と話せて楽しかった。
- ・一つのことについてみんなとじっくりかんがえられた。
- ・この場で話しやすいのが良かったから。

【やや満足】

- ・楽しかったがテーマがむずかしかったから。

【普通】

- たくさん話せた。

(問3) 奈良市子ども会議全体を通して自分の意見を言うことができましたか。

選択肢	人数	%
十分できた	13	65%
できた	5	25%
どちらともいえない	2	10%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	20	100%

(問4) 子ども会議に来年もまた参加したいですか。

選択肢	人数	%
とても参加したい	14	70%
参加したい	3	15%
どちらともいえない	3	15%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%
計	20	100%

(問5) 奈良市は子どもにやさしいまちだと思いますか。

選択肢	人数	%
とてもそう思う	6	30%
そう思う	10	50%
あまり思わない	0	0%
まったく思わない	1	5%
わからない	3	15%
計	20	100%

(その理由) ※一部抜粋

【とてもそう思う】

- ・子ども会議のように子ども自身で考えられるきかいがあるため。
- ・子どもの意見もきいてくれるから。

【そう思う】

- ・子ども用の施設が増えてきたと感じるから。
- ・子ども会議があるから。

【わからない】

- ・家庭によってやさしいまちといえる人といえない人がいるかもしれないから。

(問7) 奈良市子ども会議に参加して、良かったところ、悪かったところ、変えてほしいところなど、自由に感想や意見を書いてください。(開催時期、回数、場所、内容など) ※一部抜粋

- ・自分の考えを話せました。
- ・とても楽しかったです。来年も参加したいと思いました。
- ・色々な人と話をしてより知見を広めることができたと考えています。とても成長できたと思います。
- ・時間によゆうのなかったときは進むスピードが少しはやいように感じました。
- ・回数増やしてほしいです。



Ⅲ 奈良市子ども会議意見書

奈良市子ども会議で出された子どもたちの意見をまとめ、市長に提出するための意見書を子どもたち自身で作成しました。

令和5年度奈良市子ども会議では、本市が抱えている課題や実施している事業のうち、5つのテーマについて、グループにわかれて議論を行いました。

「意見書」には、テーマの担当課から聞いた情報や自分たちで調べたことをもとに、現状と理想を書き、その現状と理想のギャップを埋めるためにすべきことを提案しました。そして、「未来はこうなる」と題し、物語風に理想とする未来を描きました。その内容は次のとおりです。

なお、この意見書の原本は子どもたちによる手書きの意見書になっていますので、この報告書の別冊資料としてその写しを添付しています。

[グループメンバー一覧]

Aグループ

谷田 俊明	水野 太陽	矢戸 秀介	阪口 真理
川村 美菜子			

Bグループ

中村 陽奈	寶上 新史	垣内 証人	西村 泰一
徳本 葵			

Cグループ

伊藤 虹架	東口 瑛汰	大向 彩希	二宮 葵
青山 幸平			

Dグループ

赤阪 武紗志	坂本 彩夏	内田 龍之介	大田 結貴
恒石 智香			

Eグループ

増田 修英	谷田 仁胡	西松 知春	赤阪 弥真斗
栗原 壽			

【 Aグループ 】

[テーマ] 「Gender Equality」

みんなが自分らしく生きられる社会（学校や地域など）について考えよう！

[チーム名] スマイルテニスポンズ

[現 状]

- ・思い込みによって、女性の就業率が低い。
- ・会社の「風土」や「古い考え方」により育休が取りにくい。
- ・家の人をみて子どもは男女の偏りを知る。
→日本人の特性（周りに流されやすいこと）により広まる。

[理 想]

- ・機会均等
- ・同僚から育児を応援してもらえる。
- ・男の人が育児をしてもおかしくない。
- ・望んだ生き方ができる。
- ・自分らしさをだせる。

[現状と理想のギャップを埋めるには]

- ・奈良市のサービスの向上&拡散
- ・職場の風土の改善
- ・仕事のできる母・家事のできる父になる。
- ・子どもの頃から家事や育児をさせる。
- ・家事や育児を手伝うロボットやサービスを作る。
- ・自己主張できるようになる。

[未来はこうなる]

私は今日も学校へ行く。小学校の先生だからだ。ちなみに小学五年生を担当している。
一児の父でもある。

最後に子ども会議に参加してから十年が経った。議題は「女性の就業率の向上」だった。
この問題の原因は、女性は家事をし、男性は仕事をするという思い込みで、それをゼロにするのは難しいと奈良市の職員も言っていた。

では、そのような思い込みはどこで生まれるのか。私は、子どもが、父親が仕事をして、
母親が家事や育児をしているのを見て、そのような思いが生まれるのではと思った。そこで、
わたしのクラスでは「お手伝い日記」という宿題を出している。そこでは、妹や弟と一緒に
遊ぶこともお手伝いとしている。

今日では、市の補助サービスや育休への理解の深まり、人々の意識の改善により、女性の
就業率は上がってきている。私は「家事・育児のできる父」を目指して、日々頑張っている。

【Bグループ】

[テーマ] 「一致団結！老若男女が笑顔！」
お年寄りと子どもの交流について考えよう！

[チーム名] チキンドーナツ

[現 状]

- ・外であそんだら老人におこられた。
- ・子どもと老人との距離感が遠い。

[理 想]

- ・お年寄りと仲良く楽しい社会
- ・子どもと老人との距離感が近い。
- ・足の悪いお年寄りが歩けるようになってほしい。

[現状と理想のギャップを埋めるには]

- ・ご飯とまつりなどで、老人との距離感をつめる。
- ・コミュニケーションの機会を増やす。
- ・お互いのことを知り合う。
- ・互いの誤解をとく。

[未来はこうなる]

2028年5月。今日は2か月に1回のごはん会。

今日は近所で人気の和食レストランに学生やお年寄りが集まってごはんを食べています。

料理人が作るので、みんな負担が少なくゆっくりおしゃべり。おしゃべりしていると、たくさんの人が夏にそうめんを食べたいということが分かりました。そして、次のごはん会は流しそうめん会に決まりました。

2028年7月。みんなが楽しみにしていた流しそうめん会です。お年寄りに教えてもらいながら、学生が準備をしています。途中、間違えたりしたけれど、公民館からは楽しそうな声。無事そうめんと流し台が完成しました。せみの鳴き声を聞きながら、つめたいそうめんを上手にすくって食べると、夏を感じてみんなにこにこ。次はなにを食べるのかな。

2028年8月31日。今日はみんなで楽しみにしていた笑顔あふれる夏祭りの日です。地域の公園にはたくさんの屋台があります。秋の近づきを感じられる涼しい風に、焼きそばのソースの香りがのってきます。子どもたちは射的に夢中で、大人たちはそれを見てにこにこしています。夜5時。みんな屋台でごはんは特別感があって、とても楽しそう。空調の効いた近くの体育館でごはんを食べ、元気をつけたら、クイズ大会が始まりました。お年寄りと子どものチームはお互いに知っていることが違うからチームワークばつぐんです！暗くなってきた夜7時。お祭り最後のイベント盆踊りが始まりました。やぐらをかこんで最初は緊張していた子どもたちもお年寄りに教えてもらいながら最後まで踊っていました。

子どもたちは明日から新学期。いろんな種類のワクワクを胸にみんな笑顔で帰っていきました。

【Cグループ】

[テーマ] 「子どもの権利物語」

子どもの権利について考えよう！

[チーム名] CCレモン

[現 状]

- ・なら子育て情報ブックの発行
- ・子どもの権利が知られていない。
- ・相談所に相談する人が少ない。

[理 想]

- ・全ての子どもに対して公平に接せられている。
- ・プライバシーが守られている（大人と同じように）
- ・男女・年齢差別をされる人がへっている。
- ・子どもも大人も住みやすい環境になったらいい。
- ・相談所の環境が良くなっている。
- ・虐待や体罰などの子どもへの暴力が少なくなっている。

[現状と理想のギャップを埋めるには]

- ・「子どもの権利を知っているかどうか」などのアンケートをクロームブックなどで答えてもらう。
- ・みんなが権利を知れるように動画を作る。
- ・子どもの権利をテーマにしたポスターのコンクール
- ・周りにバレそうで相談しにくい子どもでも気軽に相談できる環境をつくる。
- ・学校の道徳などで「子どもの権利」について話し合ったり専門の人が作った動画を見てもらう。

[未来はこうなる]

「子どもの権利物語」

2029年8月9日。私たちは今CCレモン小学校にいます。私たちは今、6年生。1年生のころ、社会は暴力やぎゃくたいを受けても相談しにくい環境でした。暴力を受けていた奈良市の小・中学生は、2023年、5万人のうち1万人でした。今では、5人に減ってたくさん子どもが守られています。

2023年、奈良市の小・中学校に「今の相談所は相談しやすいか」というアンケートをとったところ「相談しやすい」と答えたのは、5万人のうち、10人でした。2029年、同じアンケートをとったところ、「相談しやすい」と答えたのは、5万人のうち2万人にふえました。

スタンドバイでの相談で一番多かった内容は、「『お兄ちゃんだから、お姉ちゃんだから・・・』とか『男の子だから・・・』などと他の人と比べられたり、年齢・男女差別をされるのが嫌だ」というのがみられました。今では、そのような差別が少なくなり、奈良市の全ての子どもが大人と同じように平等になりました。

私たちは、この変化のおかげで、毎日笑って過ごせています。

この先、世界中の全ての子どもが平等に、幸せにらせるようになることを願っています。

【Dグループ】

[テーマ] 「ゲーム依存症から犯罪へ～」

SNSやゲームとの関わり方について考えよう！

[チーム名] 依存症対策委員会

[現 状]

- ・依存症により親に暴力をふるうことがある。
- ・SNS空間で犯罪が多発している。
- ・ゲーム依存症で学校に行かなくなったりする。

[理 想]

- ・SNSでの犯罪をなくす。
- ・スマホ・ゲームの時間を制限する。

[現状と理想のギャップを埋めるには]

- ・正確な数値を調査で出して、香川の条例のガイドラインをたくさん作る。

[未来はこうなる]

学校に行けなくなった・・・理由はいじめられたからだ。まわりで見ている人も見て見ぬふりをする。だからもう学校へはいかない。ゲームは楽しい。だけど親はやめさせようとする。なんでだよ。

そしてどんどんゲームにはまっていく。親がとめる、親に暴言をはく、なぐる、そして親がしかたなく許す。そのくり返しだ。そして親に対してイライラがたまってきた。

だがある日、いつもどおりゲーム中でむかつく相手があおり、チートでぼこす。そしていつの間にかゲームにアクセスできなくなった。いかりくるってゲームをこわしてしまった。そして親に強制的に病院にいれられてしまった。

友達からの手紙が病院にとどいた。心が温まる。よし、病院から出たら学校に行こう。

【Eグループ】

- [テーマ] 「新しいクリーンセンターを設置するために」
新しいクリーンセンターをどんな場所にしたいか考えよう！
- [チーム名] 奈良市子どもクリーンセンター設置調査委員会

- [現 状]
- ・老朽化
 - ・40年近く経っている
 - ・厳しい状況
 - ・危ない
 - ・知名度がない
 - ・維持費が高い

- [理 想]
- ・きれい
 - ・あたらしい
 - ・立地が良い
 - ・楽しい施設
 - ・安全
 - ・人気
 - ・有名
 - ・長持ち
 - ・建設費が安い

- [現状と理想のギャップを埋めるには]
- 新しくて安全でみんなの人気を集める楽しいクリーンセンターを新設

- [未来はこうなる]
- 「2040年8月19日 クリーンセンターに対する結果報告書」
- 2040年8月19日。奈良市には新しくたてられたクリーンセンターが7個あります。17年前は4個しかクリーンセンターがありませんでした。一般的にクリーンセンターの寿命は20年と言われていますが、奈良市のクリーンセンターは38年以上使われており、人間でいうと160歳をこえていて、老朽化が進んでいました。それでもすぐには新設できませんでした。なぜなら、クリーンセンターへのイメージが悪かったことや、そもそもクリーンセンターがよく知られていなかったためです。
- しかし、奈良市子ども会議で推進課の人たちから話をきき、その後、みんなが知っていて誰でも来やすく、安全で楽しい所が良いという意見や逆にきたなかったり危なくて、老朽化が進んでいる所が嫌だという意見をかわしました。その上で新設するにあたって、うけいれてもらうには、どうしたらいいかを考えた結果、新しいクリーンセンターには小さい子が遊べる遊具や猫カフェやドッグランなどの動物好きな人が楽しめるエリア、アスレチック、年ばいの方も楽しめる温室、若者向けのまんがきっさなどの全年齢に配りよした建物が建てられました。また、非常時用の大きい体育館もあるため災害時でも安心です。ほら、耳をすませなくても、人々の楽しそうな声がきこえてきます！そして、クリーンセンター自体も焼きやくするときのエネルギーを使って、電気を生み出すエネルギーセンターに生まれ変わりました。

IV 意見書に対する答え

子ども会議で提案のあった子どもたちからの意見に対する市の答えをまとめ、各テーマの担当者が直接子どもたちに回答を説明しました。各テーマの回答内容は次のとおりです。

[テーマ]

Gender Equality

みんなが自分らしく生きられる社会（学校や地域など）について考えよう！

提案：・奈良市のサービスの向上&拡散

・職場の風土の改善

・仕事のできる母・家事のできる父になる。

・子どもの頃から家事や育児をさせる。

・家事や育児を手伝うロボットやサービスを作る。

・自己主張できるようになる。

【担当課：共生社会推進課】

性別によって役割を決められることなく、自分らしく生きられる社会にするには、皆さんも指摘してくれたように無意識の思いこみを無くしていくことが大切だと思います。無意識だけに、無くすのは大変なことです。ただし、無くすことは出来なくても、思いこみにとらわれないようにしていくことは出来るかなと思います。例えば、ゴミの分別、昔は、そんな考え方は、無かったですし、分別しないからといって、罰を受けるわけではありませんよね。でも、ゴミを分別することで、リサイクルが可能になり、ゴミを減らし環境への影響を少なく出来るとみんなが理解するようになったので、今やゴミの分別は当たり前となりました。思いこみも同じことではないでしょうか。思いこみにとらわれないほうが、みんなが自分らしく生きやすくなると、繰り返し伝えることで、少しずつ世の中の人の意識が、変わっていくのではないかと思います。

市では、様々な部署にわかれて、市民の生活が良くなるように日々、仕事に取り組んでいます。仕事を進めるにあたって、思いこみにとらわれていないだろうか、色々な人の意見をきちんと取り入れられているだろうか、みんなにとって一番良い選択が出来ているだろうか、こういったことを念頭においてもらえるようにそれぞれの部署に今後も働きかけていきたいと思っています。

そして、世の中を変えていくためには、やはり、一人一人の意識を変えていくことが大事です。様々な場面や機会で、市民の皆さんに、自分にも無意識の思いこみがないかをふりかえってもらい、自分らしく生きられる社会について考えて欲しいということを、市としてねばり強く伝えていきます。

一致団結！老若男女が笑顔！ お年寄りと子どもの交流について考えよう！

提案： ・ ご飯とまつりなどで、老人との距離感をつめる。

・ コミュニケーションの機会を増やす。

・ お互いのことを知り合う。

・ 互いの誤解をとく。

【担当課：福祉政策課】

お年寄りと積極的にコミュニケーションをとりたいと思っているのはとても嬉しいことです。福祉政策課としても、子どもとお年寄りがお互いに理解を深めるために交流の機会を設けることができるよう考えたいと思います。

【和食レストランでの食事会】 お年寄りと子ども達が集まって食事をするのは、とてもよい交流の機会であると思いました。もちろんプロの料理人の作ったおいしいご飯を食べられたらうれしいけれど、都合がつかないときは、代わりに、お年寄りと子ども達で一緒にごはんを作るのはどうでしょうか。どんな料理を作りたいか、みんなで楽しみながら作ることができる料理は何か、お年寄りと子ども達が一緒になって考えてみて欲しいです。

【流しそうめん会】 流しそうめんは、世代問わず楽しめるのでいいアイデアであり、毎年夏に実施をすれば季節の風物詩として地域の定期的な多世代交流の場になるうに、お年寄りと子ども達で一緒に準備をすることで、コミュニケーションをとるすばらしい機会になると思います。実際に市内の公民館で実施された例があるので、そういった機会と場所を増やしていけたらと考えます。

【夏祭り】 お年寄りと子ども達だけでなく、様々な世代の人が広く交流できるような出し物を実施できればいいですね。ただ、1から祭りを企画するというのはなかなか難しいかもしれません。その代わり、地域の自治会などで実施されているお祭りに、子どもたちが企画段階から入ってアイデア出しや当日の運営に参加できるようお願いできないかと考えているところです。

ごはんや祭り以外に、市内にたくさんあるお年寄りの通いの場では、お年寄りたちが定期的に集い、介護予防のための運動をしたり、健康についての講座を聞くなどの活動を行っています。子ども達がそういった場に参加するときとお年寄りも喜ばれると思うので、そういった場を使った交流についても考えていきたいです。

子どもの権利物語

子どもの権利について考えよう！

提案： ・「子どもの権利を知っているかどうか」などのアンケートをクロームブックなどで答えてもらう。
・みんなが権利を知れるように動画を作る。
・子どもの権利をテーマにしたポスターのコンクール
・周りにバレそうで相談しにくい子どもでも気軽に相談できる環境をつくる。
・学校の道徳などで「子どもの権利」について話し合ったり専門の人が作った動画を見てもらう。

【担当課：子ども政策課】

子どもの権利については、^{じっさい}実際にどのくらい知られていて、どんな問題があるか確認する必要があるので、皆さんの意見を参考にして、10月23日～11月10日にかけて、奈良市に^す住んでいる子どもの声^きを聴くために「子どもの権利に関するアンケート」を^{じっし}実施しました。アンケートでいただいた意見を参考に、子どもが相談しやすい^{かんきょう}環境づくりについて^{けんとう}検討していきたいと思います。

また、子どもの権利をすべての人に知ってもらう方法については、市全体または学校でこういったことができるか^{けんとう}検討しています。次のようなものを考えていますが、これらについても、皆さんに協力いただいたアンケート^{けっか}結果を参考に、大人が^{きぼう}希望するものではなく、子どもの皆さんが^{きぼう}希望する方法で^{じっし}実施できるように、引き続き^{けんとう}検討していきます。

- ①奈良市が^{さくせい}作成した子どもの権利を知ってもらうための^{どうが}動画や^{しりょう}資料を市のホームページなどで^{こうかい}公開する。
- ②^{どうが}動画やポスターを^{さくせい}作成してくれる子どもたちを^{ほしゅう}募集し、作成してもらい、出来上がった^{どうが}動画やポスターを様々な場所で子どもの権利を知ってもらうために活用してもらう。
- ③子どもの権利について学習するときに活用できる^{かつよう}教材として、国や県、ユニセフなどの^{どうが}団体の^{しゅうち}動画を^{ていきょう}周知・提供する。



ゲーム依存症から犯罪へ～ SNSやゲームとの関わり方について考えよう！

提案： ・ 正確な数値を調査で出して、香川の条例のガイドラインをたくさん作る。

・ スマホ・ゲームの時間を制限する。

【担当課：子ども支援課】

①香川県のゲーム条例が作られた経緯^{けい}や背景^{はいけい}、課題^{かだい}などについて、大人の立場や子どもの立場^{ふく}も含めて詳しく学びたいと思います。また、他の地域でゲームやSNS依存^{いぞん}対策^{たいさく}の進んだ取り組みがあれば、勉強していききたいと思います。

②香川県のゲーム条例では定期的な確認^{ていきてき}を行うことになっているので、条例ができる前とできた後でどのような変化があったか、条例によって効果^{こうか}が表れているかを香川県へ聞き取ります。

③香川県への聞き取りをはじめ、ゲームやSNS依存^{いぞん}に対する有効^{ゆうこう}な方法や考え方について、広く情報^{じょうほう}収集^{しゅうしゅう}するなど調査^{ちようさ}していききたいと思います。条例やガイドラインでSNSやゲームの使い方のルールを決めてよかったこと・悪かったことを確認し、家庭ごとでルールを決めるより、一律^{いちりつ}でルールを定めてSNSやゲームを使ってもらう方が良いとの考えになった時は、ガイドライン・ルール作りを考えたいと思います。その際^{さい}には皆さんからのご意見を聞いていきたいです。



新しいクリーンセンターを設置するために 新しいクリーンセンターをどんな場所にしたいか考えよう！

提案： ・新しく安全でみんなの人気を集める楽しいクリーンセンターを新設。
（小さい子が遊べる遊具・猫カフェやドッグランなどの動物好きな人が楽しめるエリア、
アスレチック、年ばいの方も楽しめる温室、若者向けのまんがきっさなどの全年齢に配りよ
した建物。非常時用の大きい体育館の設置、焼きやくするときのエネルギーを使って、
電気を生み出すエネルギーセンター）

【担当課：クリーンセンター建設推進課】

奈良市では、どのようなクリーンセンターを建設するかはまだ決まっていますが、近年新設された他の都市のクリーンセンターでは、市民のみなさんがくつろぐことができるように施設の横や屋上に芝生広場を作ったり、ごみの焼却時に発生した熱エネルギーを利用した温水プールや足湯を作るなど、市民のいこいの場となっています。

「新しく安全で、みんなの人気を集める楽しいクリーンセンターを新設」するためにいただいたご提案は、市民のみなさんに親しまれるためにはとても大事なことです、実現できないか検討していきたいと考えています。特に、「小さい子どもから年配の方まで配慮した」という観点はとても大切で、私たちも今後、色々な年齢層の方の意見を聞いていきたいと考えています。特に、みなさんのような小・中学生から高校生までの方々をはじめ、大学生、子育て世代といったこれからの奈良市の未来を担っていく若者世代の声というのはあまり聞けていないので、今後は市内の大学を対象にしたワークショップや子育て世代を対象にした若者会議などの実施を考えていき、全世代に配慮したよりよいクリーンセンターの実現につなげたいと思います。

また、「焼却するときのエネルギーを使って、電気を生み出す」という観点は非常に興味深く、奈良市としてもとてもためになると感じます。いま、奈良市は施設の整備計画をまさに作っている最中であり、その中にみなさんの意見を盛り込み、まずは計画の策定に役立てたいと思います。

クリーンセンターには、発生した熱やエネルギーを利用した農業や、災害発生などの非常時には防災拠点になるなど多くの可能性があります。一方で、新しく施設を建てる場所にもともと住んでいる人たちの意見も大切に、市民皆さんの意見を反映した地域のまちづくりに貢献できるクリーンセンターの建設を目指していきます。



令和5年度奈良市子ども会議集合写真

市長への意見報告会(R5.8.18) 撮影

令和5年度奈良市子ども会議報告書

令和6年1月

【発行】

奈良市子ども未来部子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話:0742-34-4792 FAX:0742-34-4798

E-mail:kodomoseisaku@city.nara.lg.jp